令和3年10月 発地別延べ宿泊者数割合

(単位:人泊、%)

出典:大分県観光統計調査

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北·北海道	国内計
令和3年10月(速速報値)	50,796	85,685	37,181	4,393	13,479	19,375	7,540	37,409	3,999	259,857
令和2年10月(速報値)	51,403	109,346	51,725	5,253	16,077	25,944	8,187	33,083	2,850	303,868
前年同月比	98.8	78.4	71.9	83.6	83.8	74.7	92.1	113.1	140.3	85.5
2019年10月(確報値)	41,640	94,881	61,361	10,469	26,643	27,985	15,534	48,376	5,516	332,405
2019年同月比	122.0	90.3	60.6	42.0	50.6	69.2	48.5	77.3	72.5	78.2
2018年10月(確報値)	52,778	84,004	56,038	8,616	22,043	23,796	12,998	43,494	4,793	308,560
2018年同月比	96.2	102.0	66.3	51.0	61.1	81.4	58.0	86.0	83.4	84.2
令和3年9月(速速報値)	29,151	58,165	22,142	2,340	8,454	13,084	4,424	23,263	1,391	162,414
前月比	174.3	147.3	167.9	187.7	159.4	148.1	170.4	160.8	287.5	160.0
										-

【国外】

L								
	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年10月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,362
令和2年10月(速報値)	6	21	8	0	0	1,221	153	1,409
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	96.7
2019年10月(確報値)	5,788	8,292	8,276	12,082	2,972	3,495	40,231	81,136
2019年同月比	*	*	*	*	*	*	*	1.7
2018年10月(確報値)	43,714	8,367	6,260	9,783	1,041	2,603	2,982	74,750
2018年同月比	*	*	*	*	*	*	*	1.8
令和3年9月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	188
前月比	*	*	*	*	*	*	*	724.5

【全体】

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。 この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

合計 261,219 令和3年10月(速速報値) 令和2年10月(速報値) 305,277 前年同月比 85.6 2019年10月 (確報値) 413,541 2019年同月比 63.2 2018年10月(確報値) 383,310 2018年同月比 68.1 令和3年9月(速速報値) 162,602

160.6

前月比

<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比85.5%。GOTOトラベルキャンペーンの実施等の影響で宿泊者数がコロナ禍前の2019年・2018年の水準まで戻った昨年同月には及ばず。前々年同月比は78.2%、前前々年同月比は84.2%。
- ・国内の延べ宿泊者数の前月比は160.0%。9月末に全国で緊急事態宣言が解除され、全地域からの宿泊者数が増加となった。関東や東北・北海道など遠方からの宿泊者においては前年と比べても増加している。 県内においても9月末より「新しいおおいた旅割」が再開となり、県内宿泊者は前月比174.3%まで伸びている。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前月比724.5%。国内各地で感染者数の多かった前月に比べると増加しているが、依然とした入国制限の影響で低水準が続く。前年同月比は96.7%、前々年比1.7%、前前々年同月比1.8%。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比85.6%。前々年同月比は63.2%、前前々年同月比は68.1%、前月比160.6%。

令和3年10月の宿泊客等の動向

(令和2年10月~12月速報、令和3年1月~10月速速報)

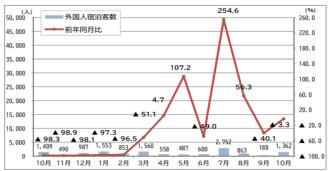
(1)宿泊客の動向

令和3年10月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で-14.4%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

令和3年10月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で-3.3%となる見込み。



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。 この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

(1)-①日本人宿泊客の動向

令和3年10月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で-14.5%となる見込み。



(2)有料観光施設(入場客)の動向

令和3年10月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で-2.7%となる見込み。 (調査対象施設29施設)



※観光施設の対前年比は、休廃業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典:大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除された昨年6月から徐々に回復、7月からのGoToトラベルキャンペーン実施に伴い秋にかけて増加するも、
- その後感染者数の増加により12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことなどにより再び減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、
- 県民向け「新しいおおいた旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、5月も更に拡大・延長し、6月まで宣言は延長。6月末に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じるものの、7月末からの感染者数の増加や緊急事態宣言地域の拡大などにより8月・9月の宿泊客数は減少傾向が続いた。
- 9月末に全国で緊急事態宣言が解除となり、「新しいおおいた旅割しも再開となったことから、10月は増加に転じる。
- ・有料観光施設の動向については前年同月比97.3%。県内でも感染者数が落ち着き、前月比増、前年同月と比べても同水準となった。
- ・外国人宿泊客は、前月よりは増加がみられるものの、入国制限は継続されているため、観光目的での宿泊客数は依然として低水準が続く。
- ・全体においては、未だインバウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。